

平成 14 年度廃棄物排出量 環境省



環境省は平成 17 年 1 月 21 日づけで、14 年度の産業廃棄物の排出・処理状況の調査結果を公表しました。14 年度の全国の産業廃棄物の総排出量は約 3 億 9,300 万トンで、13 年度に比べ、約 700 万トン（約 1.8%）減少しました。産廃排出量は 2 年度以降おおむね横ばいで推移していますが、8 年度以降はやや減少傾向がみられます。

業種別排出量では 13 年度と同様、農業（総排出量中 22.9%）、電気・ガス・熱供給・水道業（同 22.8%）、建設業（同 18.7%）、パルプ・紙・紙加工品製造業（同 7.7%）、鉄鋼業（同 6.7%）、化学工業（同 4.3%）の上位 6 業種で総排出量の約 8 割を占める結果となり、廃棄物の種類別排出量も 13 年度同様、汚泥（46.4%）、動物のふん尿（22.8%）、がれき類（14.1%）の上位 3 品目だけで総排出量の約 8 割に達していました。

なお排出された産廃全体の 46.3%にあたる約 1 億 8,200 万トンが再生利用され、10.1%にあたる約 4,000 万トンが最終処分されています。

これらの数字はいずれも 13 年度とほぼ同程度です。ただし最終処分場の残存容量は 15 年 4 月 1 日現在で、約 1 億 8,178 万立法メートルで残余年数 4.5 年分という厳しい状況が続いています。

資料:2005 年 1 月 21 日付 EIC ネット

機器分析箇所 船津 実希

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

